

## 1 学期終業式式辞「新型コロナと SDG s」

2020.7.31

今日で1学期が終わりますが、今年は新型コロナの臨時休業で授業時数が不足しているため、8月7日までは1, 2年生全員午前中補充授業、午後は部活動と三者面談。3年生希望補習があります。ですから、今年の夏休みは8月8日からです。

また、3年生は受験の時期になりました。今年は最初の受験日程である、9月出願の国公立大推薦入試と、最後の3月の後期日程にチャンスがあります。

私立大学を狙っている人も、一人一大学、国公立大学の推薦を受けましょう。とにかく早く情報を集め準備することがポイントです。小論文や面接は学校で教えます。

また、1, 2年生はこの夏休みに入試問題を解いてみましょう。早めに入試問題を解いて、どんな勉強をすればよいか、目標を定めると合格しやすくなります。入試問題は実力がついてから、3年生になってから解くというのは間違っています。入試問題を解くのは、早ければ早いほど有利です。進路指導室前の廊下の本棚に置いてある入試問題集は自由に持って帰ってかまいません。甲南大学などの推薦入試の問題を夏休みに解いてみて、入試問題とはこういうものだということを知ってください。

今年は夏季休業中の登校日はありませんが、8月21日金曜日、担任面談で利用したZOOMを使ってリモートHRを行います。この日登校している人以外は全員参加してください。そして、つながり具合はどうだったかをclassiで各自担任に報告してください。今後は気象警報や感染防止などで臨時休業となっても、リモート授業を実施します。そのテストだと思って繋がり具合をしっかりと報告してください。

さてここで、1曲聞いてください。

今聞いてもらった曲は1985年に発売されたブルーハーツの「ハンマー」という曲です。この曲でハンマーがコロナウイルスを比喻していると言いたいものではありません。ポイントは「48億の個人的な憂鬱」という歌詞です。つまり、この歌が発売された1985年の世界の人口が48億人だったということです。現在の人口は78億人です。35年間で30億人増えました。急激に増加した人類は、住む場所や経済活動の場所を野生動物の生息地へと広げていきました。

そこでこれまで接点のなかった新しいウイルスに人間が感染するようになりました。エボラ出血熱は熱帯雨林に棲む野生動物（コウモリ）の肉を食べることによって、コウモリの体内に共生的に住んでいたウイルスが、変異し人間に感染するようになったといわれています。鳥インフルエンザはもともと野生の鳥と共生していたウイルスが、鶏と交配して感染したことによって起こったものです。デング熱は温暖化の影響で、亜熱帯にしかいなかったヒトスジシマカという蚊が病原体を運び別の地域に広がったものです。新型コロナウイルスはどのようにして発生したかはまだ不明ですが、中国武漢の野生動物取引エリアから発生したのではという疑いが持たれています。

いずれにしろ、人類が今まで入っていかなかった野生動物の生息地に入り込むことによって、また、地球温暖化など環境の変化によって、それまでは野生動物に大きな害を及ぼすことなく共生していた未知のウイルスが人間に感染し、変異し、人類を脅かす感染症になる事が増えてきました。そして、同じような状況が続けば、これからも次々に新しいウイルスによる感染症が人類を襲うおそれがあります。

グローバル化した世界ではウイルスは世界中にまたたくまに広がります。特に人が密集している都会で大流行するおそれがあります。

これまでは、自然を開発すること、都会に人が集まること、世界とつながることがどんどん進めら

れてきましたが、新型コロナウイルスは、その方向性に疑問を投げかけました。

逆に、自然を開発せず、地方に分散して住み、世界とつながらないことを考える機会になったのです。

私たちは先の見通しの立たない不安の中、霧の中をさまよっているような状況にあります。

人類の向かうべき道はどこにあるのでしょうか。私たちはどうすればよいのでしょうか。全てを短時間で解決する魔法のような方法はありません。

その地道な解決方法として本校も取り組んでいる、SDG s（持続可能な開発目標）があります。SDG sには17の目標と169のターゲットがあります。目標は「11 住み続けられる町づくりを」「13 気候変動に具体的な対策を」「17 パートナリーシップで目標を達成しよう」などです。3番目の目標「全ての人に健康と福祉を」のターゲット3.3「2030年までにエイズ結核マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎水系感染症及びそのほかの感染症に対処する」、k3.b「感染症及び非感染性疾患のワクチン及び医薬品の研究開発を支援する」などがあります。これらの目標を全世界で1つ1つ達成していくことが人類の進むべき道であると思います。

野生動物の生息地を守りながら無謀な開発をしないこと、無謀な開発をしなくても生きていける社会を作ること。都会だけでなく地方も住みやすい場所にすることです。

コロナウイルスは、自分の国だけ収束させてもだめです。今の社会は、世界とつながらずには成り立たなくなっています。自国のことだけでなく、他の国のことも大切に考え、世界中で一緒にウイルスを押さえ込む努力をしないとはいけません。

人類はもっと賢くならなければ、感染症の危機から逃れられないでしょう。一気に問題解決できる方法はありません。日々の努力と知恵でよりよい世界を作っていくしかないのです。未来を担う皆さんには、このコロナ危機の時代に世界について考え、これまで以上にSDG sに取り組んでほしいと思います。